

ぽくクイクイ

クイクイのあきやすみ日記



✕ @kuikuiofficial



市民団体の催し

オオヒシクイの周辺調査 一緒にやりませんか

オオヒシクイ飛来シーズン中の実施となります



回 11月15日～2027年2月末までの毎週
日曜日ただし1月3日を除く
各日午前9時～正午頃まで

場 集合：ビュー福島潟エントランス

内 福島潟周辺で オオヒシクイなどの
越冬数をカウントします。

申 電話でねっとわーく福島潟まで

申し込み・お問い合わせは
NPO法人ねっとわーく福島潟へ
電話：025-387-0284

植物観察会「秋の花さがし」

回 10月18日(日)午前9時～11時30分

場 集合：ビュー福島潟エントランス
のぼりが目印

内 自然学習園に咲く植物の観察。

¥ 無料

申 不要、当日直接会場へ



サクラタデ



ビューおしらせ



● ビュー福島潟に「クイクイカフェ」がオープンしました
3階喫茶コーナーではクイクイカフェが営業中(休館日のぞく)。
営業時間は午前10時～午後3時。コーヒー (Hot/Ice) 350円 ほか

● 第33回福島潟フォトコンテスト

福島潟の自然と人との関わり
をテーマにした写真を大募集。
応募作品の受付は、12月1日(火)
から1月24日(日)まで。詳しく
はチラシ・ホームページをご覧く
ださい。このチラシが目印。



● よくある質問

Q. オオヒシクイを見たいのですが
A. 動きの活発な11月の早朝、野鳥観察舎
「雁晴れ舎」での観察がおすすめ。オオヒ
シクイやハクチョウが日の出の頃から飛
び立ち始めます。防寒着や双眼鏡などの
準備も必要です。

野鳥の中でもガンの
仲間やオオヒシクイは
特にこわがり屋さん。
野鳥観察の時は、遠く
からやさしい気持ちで
見守ってね。

オオヒシクイ。遠くで静かに
見守れば群はおだやか。

● 年末年始の休館にご注意を

休憩施設「潟来亭」と野鳥観察舎
「雁晴れ舎」も12月28日から1月4日
まで休館しています。ただし雁晴れ
舎の屋上は常時開放しています。

表紙について

初冬の晴れた日、空を漂うクモの糸を見る事があります。これは子グモが長く出した
糸を風にのせ、糸もろともに飛ぶ姿で、山形県の一部では「雪迎え」と呼ばれます。
昔の福島潟では無数のクモの糸が空を流れていたそう。飛びそこねた糸が田一面に
残されたとおぼしき風景が今号の表紙です。この朝、一帯のひこばえの伸びた田は全部
こんな感じでした。(参考「雪迎え 空を飛ぶ蜘蛛」錦三郎、三省堂新書)撮影日：2019年12月10日



● 水の駅「ビュー福島潟」

福島潟の自然と文化の情報発信施設です。屋上からは潟と越後平野を一望でき、
館内では潟の動植物や歴史の展示、潟の中のライブ映像も楽しめます。

◆ 営業案内 ◆

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※4階以上をご利用の場合は入館券が必要です。

入館料：一般 520円 小中高生260円 未就学児無料

年間利用券：一般 1,300円 小中高生650円

このお金は福島潟自然文化基金に寄付されます。

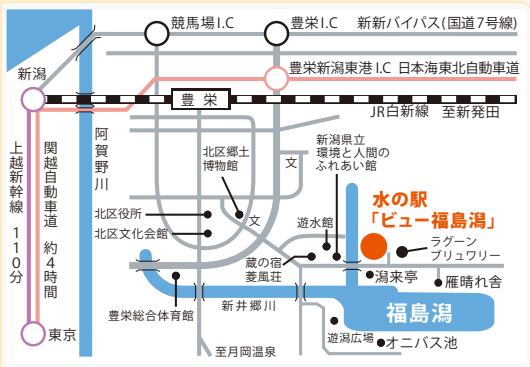
休館日：月曜日（休館日が祝日の場合は翌平日）、

および12月28日～1月4日

所在地：〒950-3328 新潟県新潟市北区前新田乙493番地

電話：025-387-1491 / FAX：025-384-1200

新潟市が設置した水の駅「ビュー福島潟」は令和6年度より指定管理者「福島潟推進グループ」が運営しています。



新新バイパス豊栄ICから車で約15分
JR豊栄駅からは車で約5分または徒歩約40分



福島潟たより

2026 秋号
10月.11月.12月

～秋のおもてなし～

2026年9月20日 水の駅「ビュー福島潟」発行



国際湿地都市
NIIGATA

